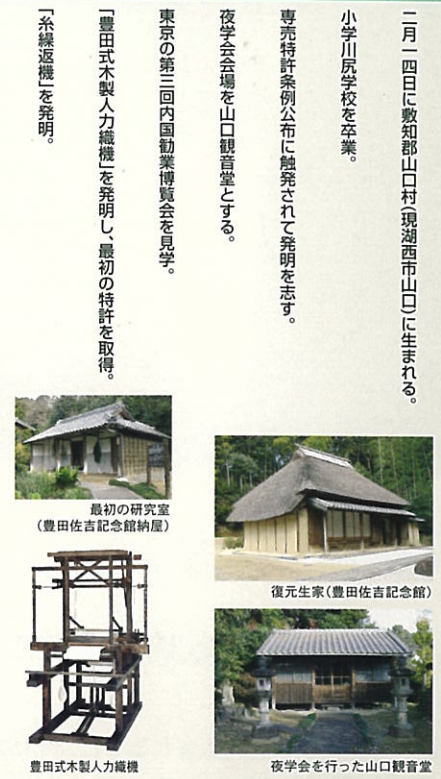


一八六七	慶応三年	二月一日に敷知郡山口村現湖西市山口に生まれる。
一八七八	明治二年	小学川尻学校を卒業。
一八八五	明治八年	専売特許条例公布に宛発されて発明を志す。
一八八六	明治九年	夜学会会場を山口観音堂とする。
一八九〇	明治三年	東京の第三回内国勧業博覧会を見学。
一八九四	明治七年	「糸繰返機」を発明。
一八九六	明治九年	日本で最初の動力織機「豊田式木鉄混製動力織機」を発明。
一八九七	明治十年	乙川綿布を設立し、動力織機の営業的試験運転を開始。
一八九九	明治十二年	三井物産と井桁商会を設立。
一九〇一	明治十四年	たて糸送り出し装置を発明。
一九〇二	明治十五年	名古屋市に豊田商会を設立。
一九〇三	明治十六年	自動杼換装置ほかを発明し、世界で最初の「無停止杼換式豊田自動織機(T式)」を完成。
一九〇四	明治十七年	「管式自動織機」を発明。
一九〇六	明治十九年	「環状織機」を発明。
一九〇九	明治廿二年	新方式の自動杼換装置を発明。
一九一〇	明治廿三年	アメリカ、ヨーロッパを視察。
一九一一	明治廿四年	豊田自動織布工場を設立。(現在の名古屋市西区則武新町)
一九一二	明治廿五年	藍綬褒章を受章。
一九一四	明治廿七年	名古屋離宮にて大正天皇に拝謁。
一九一八	大正七年	豊田紡織株式会社を設立。 (豊田自動織布工場を改組)
一九二二	大正十一年	上海に株式会社豊田紡織廠を設立。
一九二四	大正十三年	二度目の藍綬褒章(飾版)を受章。
一九二五	大正十四年	世界最高性能の完全なる「無停止杼換式豊田自動織機(G型)」を完成。
一九二六	大正十五年	吉津尋常高等小学校が現在地(現吉津小学校)に移転の際に資金を寄付。
一九二七	昭和二年	帝国発明協会へ蓄電池の発明懸賞金、百万円を寄付。
一九二九	昭和四年	刈谷に株式会社豊田自動織機製作所を創立。
一九三〇	昭和五年	帝国発明協会から恩賜記念賞を受賞。
一九三三	昭和八年	勲三等瑞宝章(明治勲章)を受章。
一九三七	昭和十二年	名古屋離宮にて昭和天皇に単独拝謁。
一九三九	昭和十四年	織機機械の世界のトップメーカーである、イギリスのプラット社へ自動織機の特許権を譲渡。
一九四一	昭和十六年	一〇月三〇日逝去。(従五位に叙せられる。)
一九四二	昭和十七年	文部省の「小学国語読本巻八」尋常科用に、「自動織機」の題名で佐吉翁が掲載される。
一九四三	昭和十八年	佐吉翁の胸像を鷺津中学校に建立。
一九四四	昭和十九年	湖西町主催で「豊田佐吉翁生誕百年記念展」を鷺津中学校で開催。
一九四六	昭和四一年	湖西町主催で第一回「豊田佐吉翁顕彰祭」を開催。
一九四七	昭和四二年	山口区が生誕百年を記念して、佐吉翁の胸像を母屋玄関前に建立。
一九四八	昭和四三年	国立科学博物館に日本の産業近代化の先駆けとして、無停止杼換式豊田自動織機(G型)が常設展示される。
一九四九	昭和四四年	工業所有権制度百周年を記念し、「日本の偉大なる発明者一〇人に選ばれ、政府より特別顕彰される。」(現在特許庁の「偉人」に指定されている。)
一九五〇	昭和四五年	「豊田佐吉翁記念館」が湖西市山口に開館。
一九五三	昭和四八年	湖西市は佐吉翁没後六〇年を機に「湖西の生んだ偉人 豊田佐吉」を刊行。
一九五五	昭和五〇年	大英科学博物館に、産業革命以来三〇〇年間の世界最初の画期的発明として、無停止杼換式豊田自動織機(G型)が常設展示される。
一九五七	昭和五二年	日本郵政公社が環状織機をデザインした郵便切手を発売。



「豊田式木製人力織機」を発明し、最初の特許を取得。

「糸繰返機」を発明。

日本で最初の動力織機「豊田式木鉄混製動力織機」を発明。

乙川綿布を設立し、動力織機の営業的試験運転を開始。

三井物産と井桁商会を設立。

たて糸送り出し装置を発明。

名古屋市に豊田商会を設立。

自動杼換装置ほかを発明し、世界で最初の「無停止杼換式豊田自動織機(T式)」を完成。

「管式自動織機」を発明。

「環状織機」を発明。

新方式の自動杼換装置を発明。

アメリカ、ヨーロッパを視察。

豊田自動織布工場を設立。(現在の名古屋市西区則武新町)

藍綬褒章を受章。

名古屋離宮にて大正天皇に拝謁。

豊田紡織株式会社を設立。  
(豊田自動織布工場を改組)

上海に株式会社豊田紡織廠を設立。

二度目の藍綬褒章(飾版)を受章。

世界最高性能の完全なる「無停止杼換式豊田自動織機(G型)」を完成。

吉津尋常高等小学校が現在地(現吉津小学校)に移転の際に資金を寄付。

帝国発明協会へ蓄電池の発明懸賞金、百万円を寄付。

刈谷に株式会社豊田自動織機製作所を創立。

帝国発明協会から恩賜記念賞を受賞。

勲三等瑞宝章(明治勲章)を受章。

名古屋離宮にて昭和天皇に単独拝謁。

織機機械の世界のトップメーカーである、イギリスのプラット社へ自動織機の特許権を譲渡。

一〇月三〇日逝去。(従五位に叙せられる。)

文部省の「小学国語読本巻八」尋常科用に、「自動織機」の題名で佐吉翁が掲載される。

佐吉翁の胸像を鷺津中学校に建立。

湖西町主催で「豊田佐吉翁生誕百年記念展」を鷺津中学校で開催。

湖西町主催で第一回「豊田佐吉翁顕彰祭」を開催。

山口区が生誕百年を記念して、佐吉翁の胸像を母屋玄関前に建立。

国立科学博物館に日本の産業近代化の先駆けとして、無停止杼換式豊田自動織機(G型)が常設展示される。

工業所有権制度百周年を記念し、「日本の偉大なる発明者一〇人に選ばれ、政府より特別顕彰される。」(現在特許庁の「偉人」に指定されている。)

「豊田佐吉翁記念館」が湖西市山口に開館。

湖西市は佐吉翁没後六〇年を機に「湖西の生んだ偉人 豊田佐吉」を刊行。

大英科学博物館に、産業革命以来三〇〇年間の世界最初の画期的発明として、無停止杼換式豊田自動織機(G型)が常設展示される。

日本郵政公社が環状織機をデザインした郵便切手を発売。

### 湖西に生きる佐吉翁の精神

### 1. 湖西少年少女発明クラブ

湖西少年少女発明クラブは、豊田佐吉翁の「報恩・創造」の精神を引き継いだ、創造力豊かな人づくりを目指そうと、1976年に設立されました。関係者の努力により、1977年5月16日、全国で第6番目の発明クラブとして社団法人発明協会から認可を受けました。

クラブ活動は隔週土曜日に行われています。書く、切る、組み立てるの基本的な工作技術を学ぶ基礎工作と習得した技術をもとに、自分の発想により作品を仕上げる自由工作など、作品の製作が中心の活動です。また、1980年から夙好きな佐吉翁にちなんだ「親子たこあげ大会」、1983年からは「湖西発明工夫展」が毎年開催され、湖西少年少女発明クラブの行事となっています。



### 2. 豊田佐吉翁顕彰祭



豊田佐吉翁顕彰祭は、1964年10月30日に当時の町長木村市郎氏が佐吉翁の「報恩・創造」の精神を顕彰すべく、佐吉翁の命日を顕彰の日と定め、豊田章一郎ご夫妻をお迎えして鷺津中学校の佐吉翁胸像前で挙げています。

また、地元山口自治会でも顕彰行事が催され、佐吉翁の遺徳を長く後世に伝えていきます。



### 3. 豊田佐吉翁記念奨学金

1967年の早春、豊田佐吉翁生誕百年を記念して、豊田家から当時の湖西町に郷土の子弟の教育にと寄付金の申し出がありました。湖西町はこの申し出を受け、翌年から豊田佐吉翁記念奨学金制度を開始しました。これまで、大学院生10人・大学生153人・工業高等専門学校生9人・高校生98人の計270人(2006年度現在)が奨学金を受けています。

### 4. 歌い伝える佐吉翁

<p><b>鷺小音頭</b> 作詞/山本祐一 作曲/鷺小音楽部 編曲/県管楽隊</p> <p>1 ハア！トントンから のこぎりかなよ 大工修行の少年佐吉翁 夜もおしんでランランの影で 鼓んだ四面立耳は 湖西の誇り ほろりほろり 大はばの あ、そなたは、ほんとうよ ほくも負けた、かばって ソレ、のびてゆく</p> <p>2 ハア！手ばたちゃんから はた織り機機も もつと進んだ、自動織機 母に作って差し上げた 少年佐吉翁は 製糖行 (※くりかえし)</p> <p>3 ハア！たが提げた 鷺津の空によ あははは、発明したよ たこを、大発明 (※くりかえし)</p> <p>4 ハア！水をあけるよ、親子をあける あけりや世界の、果てまで見える 夢で結んだ、表と裏を 豊田佐吉翁の、足跡 (※くりかえし)</p> <p>5 ハア！水と緑の、湖西の町でよ おらが見せない、自らのものは 豊田佐吉翁の、足跡 (※くりかえし)</p>	<p><b>鷺津小学校校歌</b> 作詞/山本祐一 作曲/中川 茂</p> <p>1 紫におう、富士の峰 ささなみやま、浜名湖や のぞみてここに、今集う 松木ヶ丘の学舎は、 これぞわれらが母校 栄ある鷺津、鷺津小学校 世界にほび、進めたる 国におきて、進めたる ロスマンゼルスの日章旗 響いあはれに、今ほび これぞわれらが母校 栄ある鷺津、鷺津小学校 ますみの空に、届けて ひとみ明るく、友よ友 高く大きな、若鷺も 羽ばたかな、若鷺も これぞわれらが母校 栄ある鷺津、鷺津小学校</p>	<p><b>湖西市歌</b> 作詞/夏目忠男 作曲/本間彦作</p> <p>1 遠州海の波しづか 偉人の風は 思ひ伝えたくましく 伸びる工業湖西の栄え あゝさん然と輝きあかり 2 進める浜名の湖に うつつ日は朝の和 集う力は明日を呼ぶ にきやう、夢みるの空 共に築かん湖西の栄え あゝ淡々と今日も明けゆく 3 遠く淡海のむかしより 歴史の歩みたゆみなく 今ぞ輝き輝き進む 文化の動は西ひがし 結ぶ、中へ湖西は栄え あゝ開けゆくわらの湖西市</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------